

日程	科目	学部	学科	専攻・コース
3月日程	日本語			
受験番号		氏名		
		採点		

I 次の（ ）の中からもっとも適切なものを選び、○で囲みなさい。

- (1) 京都は1年（を通して に通じて にわたって にかけて）、多くの観光客が訪れる。
- (2) やせたい（からこそ からといって からは ためには）食事をとらないのは、健康に良くない。
- (3) 大学を卒業してからも、日本語の勉強を（続いていく 続いてくる 続けていく 続けてくる）つもりです。
- (4) 私はお昼にラーメンを3杯食べて、友だちに（驚かせました 驚きました 驚かされました 驚かれました）。
- (5) 映画館で席を（離れた 離れている 離れる 離れていた）ときは、貴重品を持って行った方がいい。
- (6) 話し合いに多くの時間を費やした（といっても とはいふものの からといって にもかかわらず）、全員が納得できる結論は得られなかった。
- (7) 鈴木さんはいつも外食しているが、料理ができない（わけがない はずだ わけではない はずではない）。忙しすぎるのだ。
- (8) 「お客さまのご都合のよいときに（うかがって いらっしゃって 参られて お越して）ください。書類をお渡しします。」
- (9) 経済的に苦しい家庭の子どもの進学を（援助する 救助する 助言する 救援する）制度が必要だ。
- (10) データをコンピュータに保存する前に、誤って（消化 除去 消去 除外）してしまった。
- (11) 友達が私のミスを（バックアップ ヘルプ アシスト フォロー）してくれたので、大きな問題にはならなかった。
- (12) 事業に失敗した責任を（果たして 持って 取って 負って）、社長が会社を辞めた。
- (13) 昨日は仕事がたくさんあって（そそっかしい あわただしい はなはだしい さわがしい）一日だった。
- (14) 面接試験を受ける時は（きびきび しゃきしゃき てきぱき はきはき）と大きな声で話したほうがいい。
- (15) 飼い主のいない犬や猫を（引き取って 引き込んで 引き止めて 引き入れて）、育てている団体がある。

II 次の下線部に適切な表現を書き、文を完成させなさい。

- (1) しっかりと面接の準備をしたのに、

- (2) 子どものスマートフォンの利用が増えるにつれて、

- (3) 私が日本語の勉強を始めたのは、

からです。
- (4) 円安が進めば進むほど、

- (5) このスーパーは品物が豊富な反面、

日程	科目	学部	学科	専攻・コース
3月日程	日本語			
受験番号		氏名		
				採点

Ⅲ 次の下線部に適切な文を書き、文章を完成させなさい。

映画やドラマを早送りで視聴する人が、特に若い世代で増えているようである。早送りで視聴することには、

という利点がある。

しかし、問題点もある。それは、

Ⅳ つぎの(A)～(C)に、下のア～ウの文を入れて、文章を完成させなさい。

「リーダーシップ」という言葉を聞いたとき、みなさんの頭の中にはどのようなイメージが浮かびますか？

(A)

(B)

これが、現代の日本において一般的にイメージされる「リーダーシップ」だと思います。

(C)

「私にはリーダーシップを取れるような、人を引っ張る力も、カリスマ性も、頭のよさも、地位もないので、リーダー的な立場になることはまずないだろう」、そう思っている人が少なくないのではないのでしょうか。

ア それゆえに、大多数の人たちは、リーダーシップというものに対して、「自分には関係ないもの」と思い込んでいるようです。

イ つまり、実力（成績やスポーツなども含む）のある人、人望のある人、カリスマ性のある人、「長」のつくような立場にある人、お金のある人など、そのグループを引っ張るにふさわしい、選ばれた人が発揮する力――。

ウ 多くの人には、何らかのグループにおいて、リーダーの立場にいる人がいて、その人によって発揮される、グループを取りまとめ、目的に向かって引っ張っていく力というものをイメージするのではないのでしょうか。

(A)	(B)	(C)
-----	-----	-----

日程	科目	学部	学科	専攻・コース
3月日程	日本語			
受験番号		氏名		
				採点

V 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

昨今、「正しさは人それぞれ」とか「みんなちがってみんないい」といった言葉や、「現代社会では価値観が多様化している」「価値観が違う人とは結局のところわかりあえない」といった言葉が流布しています。このような、「人や文化によって価値観が a 異なり、それぞれの価値観には b 優劣がつけられない」という考え方を相対主義といいます。「正しさは人それぞれ」ならまだしも、「絶対正しいことなんてない」とか、「何が正しいかなんて誰にも決められない」といったことさえ c 主張する人もけっこういます。

こうしたことを主張する人たちは、おそらく多様な他者や他文化を d 尊重しようと思っているのでしょう。そういう善意はよいものではありませんが、はたして「正しさは人それぞれ」や「みんなちがってみんないい」という主張は、本当に多様な他者を尊重することにつながるのでしょうか。そもそも、「正しさ」を各人が勝手に決めてよいものなのか。それに、人間は本当にそれほど違っているのかも疑問です。

たしかに、価値観の異なる人と接触することがなかったり、異なっても両立できるような価値観の場合には、「正しさは人それぞれ」と言っても大きな問題は生じません。たとえば、訪ねることも難しい国の人たちがどのような価値観によって生活していても、自分には関係がありません。またたとえば、野球が好きな人とサッカーが好きな人は、スポーツのネタでは話が合わないかもしれませんが、好きなスポーツの話さえしなければ仲良くできるでしょう。サッカーが好きなのは間違っていて、すべての人は野球が好きでなければならない、なんていうことはありません。

こうした場面では、「人それぞれ」「みんなちがってみんないい」でよいでしょう。しかし、世の中には、両立しない意見の中から、どうにかして一つに決めなければならない場合があります。 、「日本の経済発展のためには原子力発電所が必要だ」という意見と、「事故が起こった場合の被害が大きすぎるので、原子力発電所は廃止すべきだ」という意見とは、両立しません。どちらの意見にも ① もっともな点があるかもしれませんが、日本全体の方針を決めるときには、どちらか一つを選ばなければなりません。原子力発電所を維持するのであれば、廃止した場合のメリットは捨てなければなりません。② 逆もまたしかり。「みんなちがってみんないい」というわけにはいかないのです。

そんなときには、どうすればよいのでしょうか。「価値観が違う人とはわかりあえない」のであれば、どうすればよいのでしょうか。

③ そうした場合、現実の世界では権力を持つ人の考えが通ってしまいます。本来、政治とは、意見や利害が対立したときに 妥協点や合意点を見つけだすためのはたらきなのですが、最近は、日本でもアメリカでもその他の国々でも、権力者が力任せに自分の考えを実行に移すことが増えています。 e 批判に対してきちんと正面から答えず、単に自分の考えを何度も繰り返したり、論点をずらしてはぐらかしたり、権力を振りかざして脅したりします。

そうした態度を批判するつもりで「正しさは人それぞれだ」とか「みんなちがってみんないい」などと主張したら、権力者は大喜びでしょう。 、もしもさまざまな意見が「みんなちがってみんないい」のであれば、つまりさまざまな意見の正しさに差がないとするなら、選択は力任せに行うしかないからです。「絶対正しいことなんてない」とか「何が正しいかなんて誰にも決められない」というのであればなおさらです。決定は正しさにもとづいてではなく、人それぞれの主観的な信念にもとづいて行うしかない。それに納得できない人とは話し合っても f 無駄だから権力で強制するしかない。こういうこ

日程	科目	学部	学科	専攻・コース
3月日程	日本語			
受験番号		氏名		
				採点

とになってしまいます。

つまり、④「正しさは人それぞれ」や「みんなちがってみんないい」といった主張は、多様性を尊重するどころか、異なる見解を、権力者の主観によって力任せに切り捨てることを正当化することにつながってしまうのです。これでは結局、「力こそが正義」という、g 困った世の中になってしまいます。それは、権力など持たない大多数の人々（おそらく、この本を読んでいるみなさんの大部分）の意見が無視される社会です。

では、どうしたらよいのでしょうか。

よくある答えは、「科学的に h 判断すべきだ」ということです。科学は、「客観的に正しい答え」を教えてくれると多くの人は考えています。このように、さまざまな問題について「客観的で正しい答えがある」という考え方を、普遍主義といいます。探偵マンガの主人公風に言えば、「真実は一つ！」という考え方だといってもよいかもしれません。先ほどの相対主義と反対の意味の言葉です。「価値観が多様化している」と主張する人たちでも、科学については普遍主義的な考えを持っている人が多いでしょう。「科学は人それぞれ」などという言葉はほとんど聞くことがありません。

【中略】

ところが、実は科学は一枚岩ではないのです。科学者の中にも、さまざまな立場や説を取っている人がいます。そうした多数の科学者が論争する中で、「より正しそうな答え」を決めていくのが科学なのです。それゆえ、「科学者であればほぼ全員が賛成している答え」ができあがるには時間がかかります。

【中略】

最先端の研究をしている科学者は、それぞれ自分が正しいと考える仮説を正当化するために、実験をしたり計算をしたりしています。つまり、科学者に「客観的で正しい答え」を聞いても、何十年も前に合意が形成されて研究が終了したことについては教えてくれますが、まさしく今現在問題になっていることについては、「自分が正しいと考える答え」しか教えてくれないのです。ある意味では、「科学は人それぞれ」なのです。

【中略】

このように考えてくると、科学者であっても、現時点で問題になっているような事柄について、「客観的で正しい答え」を教えてくれるものではなさそうです。

(山口裕之『「みんな違ってみんないい?」のか!』)

問1 波線部 a～h の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- a 異なり () b 優劣 () c 主張する ()
 d 尊重しよう () e 批判 () f 無駄 ()
 g 困った () h 判断する ()

問2 くうらん 空欄 、 に入る語として、もっとも適切なものを次のア～カからそれぞれ選びなさい。

- ア たとえば イ さらに ウ だから
 エ つまり オ しかし カ なぜなら

X	Y
---	---

